

高見設備株式会社

2023年度 環境経営レポート

(対象期間:2023年 9月～2024年 8月)



発行日： 2024年12月20日

高見設備株式会社

環境経営方針

当社は、管工事、土木工事の各事業分野において、地球環境の保全のために、環境負荷の一層の低減を図るべく、全社一丸となって、自主的・積極的に環境への取組を推進します。併せて、経営における課題とチャンス定期的に明確化し、可能な範囲において環境経営目標に反映し、環境経営システムの継続的改善を図ってゆきます。

- 1 . 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
- 2 . 二酸化炭素排出量の削減を推進します（電気、ガソリン、軽油）。
- 3 . 一般廃棄物の削減を推進します。
- 4 . 建設現場等での建設リサイクルを推進します。
- 5 . 水使用量の削減を推進します。
- 6 . 課題とチャンスを見える化し、それを推進します。
- 7 . 本方針を全従業員に周知徹底します。

制定日： 2017年7月1日

改定日： 2024年2月19日

代表取締役 中野 豊大

Ⅱ 組織の概要

(1)名称及び代表者名

高見設備株式会社

代表取締役 中野 豊大

(2)所在地

本社 〒6671-0252 兵庫県姫路市花田町加納原田732番地10

(3)環境管理責任者及び担当者の氏名と連絡先

責任者 代表取締役 中野 豊大 TEL:079-263-8855

担当者 取締役 中野 由紀 Email:keiri-npc@takami3975.jp

(4)事業内容

管工事業、土木工事業、水道施設工事業

(5)事業の規模

年間工事完成高 582百万円（2023年度）

従業員数 12名

延べ床面積 200㎡

(6)事業年度 9月～翌年8月

Ⅲ 認証・登録の対象範囲

登録組織名 : 高見設備株式会社

対象事業所 : 本社、朝来支店

活動 : 管工事業、土木工事業、水道施設工事業

IV. 高見設備株式会社 実施体制図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・経営における課題とチャンスの定期的な明確化の実施 ・代表者による全体の評価と見直し・指示を実施 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理、 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境関連法規制等取りまとめ表の作成、遵守評価の実施 ・環境経営目標・環境経営計画書を作成 ・環境経営の実績集計 ・環境教育訓練計画の作成と実施の管理 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・特定された項目の手順書作成（緊急事態への対応を含む） ・緊急事態対応手順のテスト、訓練の指導及び総括 ・環境経営の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの作成、公開（事務所への備付けと地域事務局への送付）
工事責任者 (工事代理人)	・建設現場における環境経営システムの実施 ・工事担当者及び協会社員に対する教育訓練の実施 ・建設現場の環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・緊急事態対応訓練の実施、記録の作成 ・建設現場での問題点の発見、是正、予防措置の実施
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境経営へ参加

V. 主な環境負荷の実績

項 目	単位	2022年度 基準年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	38,259	23,321			
電力（本社）	kWh	11,706	14,283			
電力（朝来支店）	kWh	11,195	2,780			
ガソリン（事務所等）	L	2,280	1,707			
ガソリン（建設現場等）	L	10,321	5,764			
軽油	L	382	0			
重油	L	—	—			
廃棄物排出量						
一般廃棄物（本社）	kg	55	48			
一般廃棄物（支店）	kg	0	0			
産業廃棄物	t	適正管理	3.4			
水使用量（本社・朝来支店）	m ³	91	54			

注）灯油、化学物質は使用していない。

VI. 環境経営目標及びその実績

(1) 中期目標

年 度		2022年度 基準年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
項 目						
I. 二酸化炭素 排出量削減	kg-CO ₂ 対基準	38,259	37,877	37,494	37,112	36,729
			△1%	△2%	△3%	△4%
電力使用量削減 (本社)	kWh kg-CO ₂ 対基準	11,706 4,109	11,589 4,068	11,472 4,027	11,355 3,985	11,238 3,944
			△1%	△2%	△3%	△4%
電力使用量削減 (朝来支店)	kWh kg-CO ₂ 対基準	11,195 3,929	11,083 3,890	10,971 3,851	10,859 3,812	10,747 3,772
			△1%	△2%	△3%	△4%
ガソリン 使用量削減 (事務所等)	L kg-CO ₂ 対基準	2,280 5,289	2,257 5,236	2,234 5,187	2,211 5,134	2,188 5,081
			△1%	△2%	△3%	△4%
ガソリン 使用量削減 (建設現場等)	L kg-CO ₂ 対基準	10,321 23,946	10,218 23,706	10,115 23,483	10,012 23,244	9,908 23,004
			△1%	△2%	△3%	△4%
軽油 使用量削減	L kg-CO ₂ 対基準	382 986	378 976	375 966	371 956	367 947
			△1%	△2%	△3%	△4%
II. 廃棄物の削減						
一般廃棄物 削減 (本社)	kg 対基準	55.0	54.5	53.9	53.4	52.8
			△1%	△2%	△3%	△4%
一般廃棄物 削減 (朝来支店)	kg 対基準	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
			△1%	△2%	△3%	△4%
建設リサイクル率 の向上	% 対基準	7.5	8.25	9.5	10.5	11.5
			+0.75%	+1.25%	+1%	+1%
III. 水使用量 削減 (本社・朝来支店)	m ³ 対基準	91	90.2	89.3	88.3	87.4
			△1%	△2%	△3%	△4%
IV. 経営における課題とチャン スの定期的な明確化の実施	対基準	実績なし	環境経営活動指針の通り			

注1) 電力の二酸化炭素排出量への排出係数は、関西電力(株)2020年度実績の
調整後排出係数0.351kg-CO₂/kWh を使用。

注2) 重油は現在使用していないため、目標設定しない。

(2) 2023年度の実績

年 度 項 目		2022年度 実績	運用期間における実績			
			2023年度（2023年9月～2024年8月）			
		基準値	目標	実績	達成度	評価
I．二酸化炭素 排出量削減	kg-CO ₂ 対基準	38,259	37,877	23,321	162%	○
			△1%	+39%		
電力使用量削減 (本社)	kWh	11,706	11,589	14,283	81%	×
	kg-CO ₂ 対基準	4,109	4,068	5,013		
			△1%	-22.0%		
電力使用量削減 (支店)	kWh	11,195	11,083	2,780	399%	○
	kg-CO ₂ 対基準	3,929	3,890	976		
			△1%	+75.2%		
ガソリン 使用量削減 (事務所等)	L	2,280	2,257	1,707	132%	○
	kg-CO ₂ 対基準	5,289	5,236	3,959		
			△1%	+25.1%		
ガソリン 使用量削減 (建設現場等)	L	10,321	10,218	5,764	177%	○
	kg-CO ₂ 対基準	23,946	23,706	13,372		
			△1%	+44.2%		
軽油 使用量削減	L	382	378	0	∞	○
	kg-CO ₂ 対基準	986	976	0		
			△1%	+100%		
II．廃棄物削減						
一般廃棄物 削減（本社）	kg	55.0	54.5	48.0	113%	○
	対基準		△1%	+12.7%		
一般廃棄物 削減（朝来支店）	kg	0.0	0.0	0.0	∞	○
	対基準		△1%	+100%		
建設リサイクル率 の向上	%	7.5	8.3	31.0	376%	○
	対基準		+0.75%	-313%		
III．水使用量 削減（本社）	m ³	91.0	90.2	54.0	167%	○
	対基準		△1%	+44%		
IV．経営における課題とチャンス の定期的な明確化の実施		対基準	実績なし	環境経営活動指針の通り		○

注1) 達成度欄にて、削減を目指す場合は、達成度＝目標÷実績×100%、増加を目指す場合は、達成度＝実績÷目標×100%

注2) 建設廃棄物のリサイクル率は2021年度を採用した。

注3) 評価欄にて、○：達成(100%以上)、△：やや未達成（95%～100%未満）、×：未達成（95%未満）

VII. 環境経営計画及び取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

◎よくできた ○まずまずできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	評価結果と次年度の取組内容
二酸化炭素排出量の削減 (目標達成)		
(下記の通り)	○	電力削減は達成したが、ガソリン・軽油削減が未達成であったため、二酸化炭素排出量削減は未達成となった（原因は、下記の通り）。
電力使用量の削減 (目標未達成)		
・空調温度の適正化 (冷房28℃暖房20℃)	○	一部でクールビズも導入したが、もっと多くの工夫が必要であったため、次回に向け対策を考える。
・サーキュレーターの設定	×	頻繁に使用する部屋に設置できた。
・不要照明の消灯	△	階段での消し忘れなど、不要照明の消灯を徹底する。
・設備の空運転禁止	○	昼休みなど長時間不使用時には対応できたが、今後は、もっとこまめに入・切の操作をする。
ガソリン使用量の削減 (目標達成)		
・アイドリングストップ	△	もっと意識をシエコドライブを実行する。
・急加速・急停車の防止	△	普段より安全運転に注意しているのでまずまずできた。
・効率的な移動	△	もっと無駄を省く計画性が必要と思われる。
		本年度も、工事量増加及び遠方の工事が増えたことのため未達成となった。次年度も、左記取組を継続する。
軽油使用量の削減 (目標達成)		
・重機の空ぶかしの禁止	○	重機の空ぶかし抑制に努めた。
・アイドリングストップ	○	もっと意識をシエコドライブを実行する。
・空気圧、オイル等の点検	○	次年度も、左記取組を継続する。
		工事の内容により本年度は、軽油使用量は0であった。
一般廃棄物の削減 (目標達成)		
・ミスコピー防止、裏紙使用	○	紙の節約に努めた。
・分別の徹底	△	分別の徹底に努めたが、まだ不十分である。
		今後も正確な排出量を把握しながら、削減に努める。
建設リサイクル率の向上 (目標達成)		
・分別によるリサイクル推進	○	ポスター掲示などによる推進を行う。
・仮設資材の再利用の推進	○	積極的に再利用した。
		本年度は、コンクリート塊、As.Co塊が多かったので達成した。次年度も、左記取組を継続する。
水使用量の削減 (目標達成)		
・節水の周知徹底	○	節水を呼びかけ達成できた。
・清掃時・手洗い時の節水	○	より多くの工夫ができるようにする。
d		次年度も、左記取組を継続し、徹底をはかる。
経営における課題とチャンスの定期的な明確化の実施 (目標達成)		
・工事分野別の技術・ノウハウの収集	○	建設現場におけるベテラン層から若手層への技術技能の伝承。次年度も、引き続き継続する。

※目標未達成の項目（電気使用量）については、次年度も現状の取組を継続し、それらの取組を徹底し、目標達成するように努めることとする。それでも未達成が継続する場合は、目標設定や取組内容の見直しを行うものとする。

VIII. 環境関連法規等の遵守状況の評価の結果

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。 遵守評価日: 2024年12月12日

適用される法規制	遵守する事項	遵守評価
廃棄物処理法	保管基準の遵守、収集運搬・処分業者との適正な契約書の締結、マニフェストの交付・保存・確認・交付状況等報告書の提出	遵守
建設リサイクル法	建築物等の分別解体義務、事前届出 特定建設資材廃棄物の再資源化義務	遵守
大気汚染防止法	特定粉じん排出等作業の実施の届出、作業基準の遵守	遵守
自動車NOx・PM法	規制対象車両の登録禁止 規制対象車両の指定地域通行禁止	遵守
騒音規制法	特定建設作業の届出、規制基準の遵守	遵守
振動規制法	特定建設作業の届出、規制基準の遵守	遵守
オフロード法	基準に適合した特定特殊自動車の使用	遵守
低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程	低騒音・低振動型建設機械の使用の促進	遵守
消防法	消火器の定期点検	遵守
フロン排出抑制法	フロン類使用機器の定期点検と記録、漏洩防止、廃棄時の適切な処理	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていることを確認しました。
なお、環境法規制等への違反、訴訟、環境上の苦情等も過去3年間ありませんでした。
また、関係当局より違反等の指摘はありませんでした。

IX. 代表者による全体の評価と見直し・指示

今年度は現場にかかる事務処理等で在社が増え電気代がオーバーしてしまい目標達成できませんでした。6年経過し、エコに関する認識が高まり意識しようという中で目標値未達成という項目も出てきているため無駄をなくす取り組みを社内活動として定着させる必要があります。基準値を2022年度をベースに見直し新たに設定した目標を達成していきたいと考えております。

全体的には、非常に厳しい経済状況の中ではありますが、投資をなるべく抑えて、目標を達成していきたいと考えます。

環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画及び実施体制について変更する必要はないと判断しました。

2024年 12月 18日
代表取締役 中野 豊大